

令和3年度市立川島中学校 学校評価のアンケート結果

1 集計結果

(1) 生徒からの評価【そう思う、だいたいそう思うを合わせた肯定群について】

① 肯定群が高い項目	%	② 肯定群が低い項目	%
問11 私は、服装やスクールマナーが守れている	94.4	問19 私は、家族と話し合っただスマホやゲームの家庭ルールをつくっている	56.0
問1 私は、まじめに授業や行事に取り組んでいる	90.4	問9 私は、体を鍛えることに積極的に取り組んでいる	60.0
問15 私は、交通事故を避けたり災害時に身を守ったりできる	88.8	問3 私は、私の考えや意見を伝える力がある程度ある	60.0

(2) 保護者からの評価 【そう思う、だいたいそう思うを合わせた肯定群について】

① 肯定群が高い項目	%	② 肯定群が低い項目	%
問5 お子さんは、生命を大切にし、自分も周りの人のことも大切にする心が育っている	96.7	問9 お子さんは、体を鍛えることに積極的に取り組んでいる	60.2
問11. お子さんは、服装やスクールマナーが守れている	96.7	問17 私（保護者）は、学校便りやホームページをよく見て学校の様子を把握している	61.8
問1 お子さんは、まじめに授業や行事に取り組んでいる	92.0	問19 私（保護者）は、子どもと話し合っただスマホやゲームの家庭ルールをつくっている	70.6

(3) 教職員の自己評価【そう思う、だいたいそう思うを合わせて】

① どちらかという肯定群が低い項目	%	② どちらかという肯定群が低い項目	%
問9 生徒は、体を鍛えることに積極的に取り組んでいる	66.6	問15 生徒には交通事故や災害時に正しい判断や行動ができる力がある	70.5

(4) 肯定の自己評価差が大きい項目【そう思う、だいたいそう思うを合わせて】

① 保護者と教師の差が大きい項目	ポイント差	② 保護者と教師の差が大きい項目	ポイント差
問8 学校は生徒や保護者の相談にいていねいに対応している	22.3	問12 学校はスクールマナーの改善に取り組み生徒が守れるように指導している	16.8

2 分析

アンケートの項目は、学校教育目標や目指す学校像「五校」を踏まえて作成しています。

- 質問項目①～④ : 進んで学び合う学校（学力向上の視点）
- 質問項目⑤～⑧ : 人権を尊重し楽しい学校（仲間づくり・人権感覚を育成する視点）
- 質問項目⑨ : 体を鍛え元気な学校（体力向上・健康管理の視点）
- 質問項目⑩ : 礼儀正しく美しい学校（道徳心の視点）
- 質問項目⑪～⑬ : 規則を守り安心安全な学校（公共心・防災・安全教育の視点）
- 質問項目⑭～⑯⑰⑱ : 情報公開等、つながりと伝統文化

- 問1の授業態度、問10の挨拶や礼儀、問11の服装やスクールマナーの遵守、問14の時間や健康管理は3者（生徒・保護者・教職員）ともに肯定回答が高く、コロナ禍において全体的に落ち着いて学校生活に取り組んだことが現れている。新型コロナウイルス感染防止に努めながら工夫して多くの行事を実施することができたことで約9割の生徒や保護者が学校の指導体制に肯定的である。特色ある取組として「花苗を育てて地域の方に贈呈する活動」「川中祭・人権劇」「トライングトゥギャザーのでふるさとの歴史文化学習」など職場体験や自然体験学習・修学旅行の他に多岐にわたった行事ができたことに達成感や満足感があつたことの現れと考える。運動や体を鍛える活動はコロナ禍にあつて度々、制限があり、意欲を高め、主体的・継続的活動を実施することが不十分だった。
- 教職員自己評価がいずれの項目も肯定回答が高い一方で、問8教育相談では保護者からいていねいな対応が不十分の回答があり差が生じている。真摯に受け止めたい。問6人権尊重やいじめや差別を許さない態度の育成が「できていない」という回答があり、少数意見であっても重視すべきことである。
- 生徒と保護者間では問19家庭でのスマホやゲームのルール整備と遵守に意識の差が大きい。子どもは話し合いとルール整備が必要と自覚している。機会を捉えて話し合い、実効性のあるルールを決めてほしい。
- 学校行事が公開できない状況下で、学校便りやホームページ、ケーブルテレビ放映は生徒の学校の様子を伝える有効な手段である。ホームページ訪問者数が増加する一方で、不十分と感じているご家庭もある。4回実施した夜のオンライン保護者説明会では、出席率の高さに学校への期待と関心の高さを感じた。今後も、創意工夫しながら家庭や地域との連携を図り教育効果を高めていきたい。